



今月の写真：「福寿草」

南会津農林事務所では、4月1日の人事異動により、新たな所長・次長・各部長による新体制の基、活動しております。

ところで、「春」です。春、ハル、はる…。左写真は、春一番の花として有名な「福寿草」です。別名ガンジツソウ(元日草)ともいいます。

2輪で咲いていました。名付けて「おしどり福寿草！」

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・ 青柳区が、「豊かなむらづくり」受賞！！
 - ・ 集落ぐるみで、エコファーマー認定！
 - ・ 砂利採取監視員に感謝状を贈呈！！
 - ・ 館岩消防団、竿頭授受賞！
 - ・ 第2回農業普及事業外部評価懇談会結果
- 人事異動のお知らせ
- 今月のコラム
- 農林事務所からお知らせ

平成18年4月20日発行 福島県南会津農林事務所



青柳区が、「豊かなむらづくり」受賞！！

集落等におけるむらづくり及び農業生産活動において顕著な業績を収めている団体をたたえる平成17年度の「豊かなむらづくり顕彰」に、旧伊南村の青柳区などが選ばれました。

青柳区は、地域の自然・歴史・文化を保存しながら最大限に利活用し、「結い」の精神に基づく世代を超えた連携活動のもと、「むらづくりのきっかけになった久川城太鼓保存会の活動による地域の活性化」や「環境にやさしい米づくりなど時代に対応した農業の振興」、「遊休農地を活用したそばのオーナー制度や体験農業などによる都市との交流」などに積極的に取り組まれたことが評価され、今回の受賞に至りました。

去る3月17日、福島市の杉妻会館において行われ

ました表彰式には、区を代表して、馬場和裕区長と馬場良吉さん、馬場信作さんが出席し、福島県知事賞と福島民友新聞社長賞が贈られたあと、受賞6団体の代表として青柳区の馬場和裕区長から「この受賞を契機に、自分たちの地域で工夫をしながら活動を継続させ、地域の活性化、地域づくりを進めていきます」と謝辞がありました。

なお同時に、青柳区は「豊かなむらづくり全国表彰事業」における福島県の代表として推薦されることとなりました。

(農業普及部、地域農林企画室)



集落ぐるみで、エコファーマー認定！

旧伊南村、村長室において去る3月8日に、エコファーマーへの取り組みを行う小立岩地区8名の認定証交付式が行われました。エコファーマーとは土づくり、減化学肥料、減化学農薬に取り組む、環境にやさしい農業を実践しようとする農業者を指し、将来的には環境負荷を軽減することにより次世



(2ページに続く)

(1 ページから続く)



小立岩地区の皆さん

減化学肥料、減化学農薬栽培による、売れる米づくりへの期待を述べました。環境にやさしい農業は健康ブームとも相まって、今後もエコファーマーへの取り組みが活発になっていくと考えられます。

南会津地域において、集落ぐるみでのエコファーマーの取り組みが増えており、ますます集落ぐるみでの活躍が期待されます。

(農業振興部)

砂利採取監視員に感謝状を贈呈！！

砂利の採取および洗浄に伴う災害を防止するため、福島県では砂利採取監視員を設置し、定期的な現場の巡回により安全の確保を図っているところがあります。

南会津地域では4人の方に砂利採取監視員の委嘱をしておりますが、去る3月3日、南会津農林事務所において、旧田島町内および下郷町落合地区を担当されて



いる大竹茂彦さんへ知事感謝状および記念品を贈呈いたしました。大竹茂彦さんは、長年にわたり砂利採取に伴う災害防止に尽力し、砂利採取法の適正な施行に寄与したことが評価されました。

今後も、安全かつ適正に砂利採取業が行われますよう、関係される方々のご協力をお願いします。

(農村整備部)

館岩消防団、竿頭授受賞！！

去る3月3日東京ニッショーホールにおいて、平成17年度消防庁長官表彰が行われ、旧館岩村消防団が竿頭授を受章しました。

竿頭授は消防団にとって最も名誉のある章で、全国2,963消防団(H17消防庁調べ)の中で今年は36消防団が受章しました。これまでの活動が評価されたとともに、昨年度に消防ポンプ車を1台更新したこと、

さらに南会津農林事務所農村整備部で推進中の中山間地域総合整備事業において、集落防災の為の防火水槽を8基整備したことが受章の理由となっています。

火事に際しては消火栓からの水で初期消火を行い、防火水槽に貯水された水で本格的な消化を行います。中山間地域総合整備事業では、本年度までに館岩地区内に11基の防火水槽が整備され、火事の際に心強いと消防団をはじめ地区の住民からの言葉が寄せられています。

(農村整備部)

第2回農業普及事業

外部評価懇談会結果

第2回農業普及事業外部評価懇談会が、去る2月21日に田島合同庁舎で開催されました。



懇談会説明状況
(2月21日)

湯田会長及び星農業普及部長のあいさつの後、普及課題「園芸産地づくりの推進」について伊東主査から説明が行われ、懇談会で評価・検討が行われました。説明はスライドを使用し、南会津の園芸の状況や普及活動、成果等を熱心に説明し、南会津の農業振興は園芸産地づくりが重要であることを強調しました。

懇談会の各委員からは、「産地ブランドの確立が重要である。高齢者や兼業の人たちへの指導も重要である。農業外の人に農業を勧めることも重要である。」等の様々な質問や提言があり、活発な議論がなされました。

その後、各委員から提出された意見書を基に、3月16日に湯田会長から渡邊農林事務所長に評価報告書が提出され、今後、これら貴重な提言を基になお一層普及活動に取り組むこととしました。

(農業普及部)



外部評価報告書の提出
(3月16日)

人事異動のお知らせ

4月の人事異動により21名が転出し、21名が新たに配属となりました。

転入者

職	氏名	旧所属	備考
所長	鈴木 伸 司	県北農林事務所	
次長	飯野 雄 太郎	会津大学	(兼)企画部長

所属	氏名	旧所属	ひとことPR
●企画部 (地域農林企画室)	浅沼 正人	会津地方振興局	伝統と歴史ある南会津町において仕事ができることを楽しみにしております。
	稲留 薫	県中農林事務所	初めての南会津です。清流を見ていると、豊かさを感じます。
●農業振興部	小山 喜男	会津坂下農業普及所	初めての南会津。清流の鮎が楽しみです。よろしくお祈いします。
	五十嵐正雄	南会津地方振興局	20年ぶり2度目の南会津農政勤務です。よろしくお祈いします。
	内田 研一	肥飼料検査所	大好きな南会津で精一杯頑張ります。よろしくお祈いします。
●農業普及部 (南郷普及所)	五十嵐竹男	須賀川農業普及所	生まれは三島町。耐寒性は自信有り。よろしくお祈いします。
	味戸 裕幸	須賀川農業普及所	南会津の農業について皆様と共に考えていきたいと思ひます。
	岩沢 正浩	喜多方農業普及所	若松出身です。農家の皆さんの力になれるよう頑張ります。
	三森 裕	会津坂下農業普及所	トマトや環境にやさしい農業を担当します。よろしくお祈いします。
	諸橋 武明	県南農林事務所	まだまだ残る雪に圧倒されます。雪を溶かす情熱を持ちたい。
●農村整備部	豊田 裕	いわき農林事務所	取って置きの南会津で7管内完全制覇となりました。
	服部 猛	会津南部ほ場整備事務所	7年ぶりの南会津です。違和感もなく、とけ込める事が驚きです。
	五十嵐幸良	会津農林事務所	5年ぶり2度目の南会津です。よろしくお祈いします。
●森林林業部	熊谷 建一	農林総務領域	女房が会津出身なのに、初めての会津経験です。自然が素晴らしい!
	田久 保昌	会津農林事務所	10年ぶりに戻ってきました。人の出合いを大切に頑張ります。
	菅家 壽一	会津農林事務所	25年ぶりの勤務です。心身ともに当時のように?頑張ります。
	高村 芳夫	県北農林事務所	初めての南会津です。どうぞよろしくお祈いします。
	大竹 国義	会津農林事務所	3年ぶり4回目の南会津勤務です。初心にかえって頑張ります。
	鈴木 比良	森林林業領域	南会津町生まれです。昨年12月の降雪で車庫の屋根が折れました。

退職者

所 長	渡邊 孝一
農村整備部長	遠藤 邦夫
森林林業部長	川村 勝美
企画部主任運転手	星 宏典



転出者 (カッコ内は転出先です)

●企画部	大堀(福島東高等学校)、齋藤(県中農林事務所)、大竹(南会津地方振興局)
●農業振興部	影山(県南農林事務所)、川島(会津学鳳高等学校)、目黒(会津農林事務所)
●農業普及部 (南郷普及所)	星(会津農林事務所)、吉田(会津坂下農業普及所)、本宮(須賀川農業普及所)、佐藤(喜多方農業普及所) 齋藤(会津坂下農業普及所)
●農村整備部	菅野(県北農林事務所)、相原(会津南部ほ場整備事務所)
●森林林業部	矢澤(会津農林事務所)、佐藤(豊)(会津農林事務所)、前田(県北農林事務所)、渡部(会津農林事務所)、岡部 (県中農林事務所)

今月のコラム



長靴君、お世話様

昨年の3月21日お彼岸、初めて公舎生活を始めるため、南会津の公舎に下見に来たとき、残雪の量に驚き、戸惑いを覚えたものでした。

4月、春の芽吹きと新緑の足音、早朝の濃霧の神秘的景色と静けさの中で、南会津での快適な生活がスタートしました。

5月、雪害パイプハウス復旧ボランティアに参加したとき、雪の偉大な力を実感したものでした。

ところで、昨年の冬は、早い降雪でありましたが、12月の雪が、年内に解けずに根雪になることは珍しいとの事でしたが、私の人生の中で、初めての雪かき・雪下ろし、そして、公舎では当番制での除雪対応と公舎住人全員での除雪作業も初体験でした。

ちょうど昨年の12月の初旬だったかと思いますが、バック片手に傘をさして公舎を一步出た瞬間、あっという間にスッテンコロリン！！。凍った路面

であったため、一瞬立ち上がれないまましていると、近所のおじさんが声をかけてくれました。こういうとき、転倒して脳しんとうを起こすことが、よくある事とのこと。この出来事により、自由に手を動かせる冬の支度をして、帽子にリュック、長靴での通勤が始まりました。

長靴、スノーブーツ、マリブーツ等々種々の名称がありますが、ちょっと調べてみました。

日本初の靴を作ったのは、明治3年3月15日千葉県旧佐倉藩士の西村勝三(1836~1907)であります。当時、輸入した軍靴が日本人にあわなかったため、陸軍の創始者・大村益次郎の提案により、東京中央区入船三丁目に伊勢勝造靴として操業したのが最初となり、3月15日は靴の日となっています。勿論、一般の日本人と靴との出会いはもっと後であります。(対ロシア戦に備えての明治35年1月、青森県八甲田山での雪中行軍での大量遭難死も大部分の兵士はわら靴であったとのこと。)

ところで、本題の長靴(ゴム長)別名:魚屋靴は、明治42年「防寒、耐水性に富むとのふれこみで1足3~4円」で初輸入され、値段は並みの靴以上だったとのこと。

一般(富裕層)に普及したのは、その高価な長靴でなく、明治40年からデパート(三越呉服店)で売られていた、紳士用編み上げ靴だそうです。

現在の靴は、健康の観点からオーダーメイド方式もあり、多種多様な形態となっております。

靴の手入れなどしたことありませんが、感謝しながらつきあっていきたいと思っております。

(農業振興部 振興グループ課長 立川正明)

農林事務所からお知らせ

山火事を防止しましょう！！ ~火の用心 森の恵みを 未来まで~

春を迎え、空気が乾燥し、山火事が発生しやすい時期になりました。

山火事の原因は、たばこの投げ捨てやたき火の延焼など、そのほとんどが人の不注意によるものです。

一人一人が注意すれば、山火事を防ぐことができます。

山に入ったら、火を使わないようにし、豊かな南会津の森林を守りましょう。



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/nourin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています
この広報誌は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。